

社団法人広島県就労振興センター

平成22年度事業報告

呉安芸地域障害者就業・生活支援センターでは、開設2年目を迎え、地域の関係機関やハローワークとの関係作りをすすめ、相互協力して就労支援を行うネットワークを築くことができた。そのことにより、登録者が昨年度の2.5倍、就業実績が1.7倍、実習件数が1.4倍に上がっている。今後は制度情報の周知や企業と本人、関係支援者をつなぐ障害者雇用の地域の中核的な役割として機能していく必要性を感じている。

広島県から「企業内ジョブサポートリーダー養成研修」「派遣型ジョブサポータースキルアップ研修」「経営感覚獲得事業」「小規模作業所の新体系移行に向けた体制整備事業」の事業を受託し、研修会等を実施した。派遣型ジョブサポーターの研修では、養成時から登録者の状況が変化しているにもかかわらず、活動が難しい方もそのまま登録されている状況が明らかとなり、県へ今後の課題として報告した。また、例年恒例となっている販売イベント「セルフフェア2010」では、参加事業所と実行委員会を組織し、継続したイベントの開催と商品の質の向上を目指していく体制を築くことができた。その他、各種研修会、販売イベント等については、各部会にて企画し、多くの会員事業所から参加された。

1 障害のある人の就労等に係る情報提供及び啓発に関する事業

(1) ふれ愛プラザ事業

① 総売上18,078,564円（対前年比96.30%）、来店者が18,143人（対前年度比91.80%）で推移した。

②体験教室、イベントの開催

i 夏休み工作教室の開催（7月28日（水）～8月6日（金））

押し花、和紙細工、木工品、クラフト等の製作体験 参加者 187名

ii 10th アニバーサリー（平成23年3月12日（土）～3月31日（木））

1,000円以上お買上のお客様には、限定100個のノベルティグッズをプレゼントして、製品の紹介活動の促進を図った。

③店舗、事業所紹介

中国新聞にバレンタイン用チョコレート商品の紹介が掲載された。

中国新聞（夕刊）に地域のお店として店舗の紹介が掲載された。

(2) 広報事業

①広報誌の発行

3月 約6,000部 発行

関係行政、社協、民生委員、関連企業、正会員、賛助会員、諸団体等へ 配布

②事務局だよりの発行

年2回（8月、2月）発行し、事務局の活動状況等について情報提供した。

(3) 情報提供

①ホームページの運営

福祉情報を発信し、会員並びに一般県民の方への迅速かつ幅広い情報提供を行った。また、賛助会員（企業）のイベント等の紹介にも活用、会員事業所への情報提供を行った。

②企業への情報提供

賛助会員企業へ「働く広場―障害者と雇用」（独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構発行）、「ふれ愛プラザ通信」を毎月配布。

2 障害のある人の就労等に係る研修に関する事業

(1) 研修会

①ビジネスマナー研修

内容：接遇の基本（挨拶、電話応対等）について

講師：株式会社キャップ

期日・会場：7月31日（土） 広島県社会福祉会館 参加者 38名

(2) 企業内ジョブサポーターリーダー養成研修（広島県からの受託事業）

【カリキュラム】

1日目<講義①>障害者雇用制度の概要

<講義②>身体障害・高次脳機能障害の特性理解と職場での対応方法

<講義③>精神障害の特性理解と職場での対応方法

<講義④>知的障害・発達障害の特性理解と職場での対応方法

<講義⑤>障害者雇用企業の実践

<講義⑥>グループディスカッション

2日目<講義⑦>社内における障害者就業支援体制の構築方法

<演習①>社内における障害者就業支援体制の構築方法

<講義⑧>職場における業務遂行のための支援技術

<演習②>職場における業務遂行のための支援技術

<講義⑨>業務遂行の効率化と工夫を考える&まとめ

【講師】

- ・濱田和秀氏（じょぶライフだいせん）：広島会場①、福山会場
- ・石井浩明氏（福岡市障がい者就労支援センター 主任就労支援コーディネーター）：広島会場②
- ・寺澤俊幸氏（マックスバリュ西日本株式会社 広東店 店長）：広島会場①
- ・本田一典氏（株式会社ディスコ 製造本部精密ダイヤ製造部 FC チームリーダー）：広島会場②
- ・山崎光弘氏（株式会社ププレひまわり 人事総務部 部長）：福山会場
- ・高上清人氏（広島県高次機能センター）：全会場
- ・西村浩二氏（広島県発達障害者支援センター センター長）：全会場
- ・桃谷栄二郎氏（社会福祉法人尾道のぞみ会 瑠璃の屋形）：全会場
- ・迫田誠治氏（広島労働局 職業安定部職業対策課）：広島会場①②
- ・三村昌樹氏（広島労働局 職業安定部職業対策課）：福山会場
- ・広島県就労振興センター調査・研究・研修部会、ジョブコーチネットワーク他より演習トレーナーの派遣

【日時、会場、受講者】

（広島会場1） 平成22年12月13日（月）・14日（火）

会場・受講者：広島県社会福祉会館 14名

（広島会場2） 平成23年1月19日（水）・20日（木）

会場・受講者：広島県社会福祉会館 23名

（広島会場2） 平成23年2月16日（水）・17日（木）

会場・受講者：福山市生涯学習プラザ 16名

（3）派遣型ジョブサポータースキルアップ研修（広島県からの受託事業）

【カリキュラム】

<講義①> 講義：企業が期待する就業支援機関の役割

講師：湯田正樹氏（株式会社キューピーあい）（広島会場）

四王天正邦氏（株式会社伊勢丹ソレイユ）（福山会場）

<講義②> 講義：就業支援者の業務と職場における心構え

講師：倉知延章氏（九州産業大学）

<講義③> 障害者ジョブサポーターの実践報告

講師：奥平智美氏（広島中央障害者就業・生活支援センター）（広島会場）

金田信之氏（東部地域障害者就業・生活支援センター）（福山会場）

<講義④> グループディスカッション、まとめ

講師：倉知延章氏（九州産業大学）

【日時、会場、受講者】

（広島会場） 平成22年10月22日（金）

会場・受講者：広島県社会福祉会館 10名

(福山会場) 平成22年11月5日(金)

会場・受講者：福山市生涯学習プラザ 8名

(4) 精神障害者就労支援等実践報告会(広島県からの受託事業)

内容：精神障害の特性理解、県内で精神障害のある方への就労支援に取り組んでいる企業、病院、事業所の活動や現在抱えている課題等の実践について報告、参加者と意見交換を行った。

講師：倉知延章氏(九州産業大学 国際文化学部 臨床心理学科 教授)

実践報告者：渡辺 裕治 氏(株式会社フレスタ)

臼井 順子 氏(つくし工房可部)

澤田 恭一 氏(草津病院)

桃谷 栄二郎 氏(瑠璃の屋形)※コーディネーター

期日・会場：2月26日(土) 広島県立体育館 大会議室

参加者：57名

3 障害のある人の就労等に係る相談に関する事業

○ 登録状況(センター開設～H23.3月末現在)

身体障害	知的障害	精神障害	その他の障害	合計
39	172	84	18	313

○ 職場実習のあっせん状況(H22年度)

身体障害	知的障害	精神障害	その他の障害	合計
6	68	11	3	88

○ 就職件数(H22年度)

身体障害	知的障害	精神障害	その他の障害	合計
10	42	14	1	67

特別支援学校の卒業生の支援については、就労に必要な情報が企業側や支援者に開示されない等、学校側と支援方法や情報共有についての課題が解決されていない。課題については、県自立支援協議会や教育委員会へも提起し、協議したが、解決されていないため、今後の課題である。

4 障害のある人の就労等に関する調査、研究ならびに情報の収集、提供に関する事業

(1) 全国社会就労センター協議会にアンケート・要望事項の提出

- ①「就労」合同作業チーム論点への会員意見の各都道府県におけるとりまとめ
- ②各都道府県における「工賃倍増計画」の取り組み状況に関するアンケート
- ③利用者本位の支援を実践するためのアンケート調査(協議員施設で実施)

(2) 中国・四国社会就労センター協議会

①全国セルフ協協議員総会

日時：5月14日（金）東京 全社協

内容：障がい者制度改革推進会議への対応について

平成21年度事業報告（案）、決算について

運営内規の一部改正について

②全国社会就労センター協議員総会

日時：2月25日（金）小倉市

内容：「働く・くらす」を支える就労支援施策のめざす方向（基本論）

総合福祉法（仮称）における事業体系等と課題【提案】（案）について

全国セルフ協「制度・予算要望事項（当面の対応）」（案）について

平成22年度補正予算（案）について

平成23年度事業計画（案）及び予算（案）について

③中国・四国社会就労センター協議会職員研修会

日時：9月9日（木）10日（金）松山市

④中国・四国社会就労センター協議会施設長研修会

日時：10月14日（木）15日（金）高知市

(3) 小規模作業所の新体系移行に向けた体制整備事業

県内の新体系への移行が未実施の事業所と移行後の事業所を対象としたアンケート調査を実施した。県内390カ所にアンケート用紙を配布、回答を得た220事業所のアンケート調査の結果をとりまとめ、報告書を作成、県へ提出するほか、県内の関係団体、アンケート調査に協力をいただいた事業所へ配布した。

5 福祉事業所等の製品の開発、販路の拡大並びに作業の開発、開拓、斡旋に関する事業

(1) 共同受注・販売促進支援

①ふれ愛プラザ販売支援

営業 11時～21時 364日営業（元旦のみ休業）

総売上 18,078,564円（来店者18,143人）

II 販売実習

障害のある人の販売実習の場として接客、レジ等の体験実習を行った。

延べ、272福祉事業所が参加

Ⅲ外部出展

行 事 名	会 場	実 施 日
「環境の日」ひろしま大会	広島県庁前広場	22.6.6 (日)
障がい者の働く場パワーアップフォーラム	岡山コンベンションセンター	22.8.6 (金)
第一生命清掃活動	第一生命 OS ビル	22.8.28 (土)
第 20 回広島県健康福祉祭	県民文化センター	22.9.1 (水) ~2 (木)
広島県障害者ふれあいランド	フジグラン東広島	22.9.11 (土) ~12 日 (日)
第 19 回全国ボランティアフェスティバルひろしま	広島国際会議場	22.9.25 (土) ~26 日 (日)
MDR Tソニー会 安芸の研修会	プリンスホテル	22.10.5 (火) ~7 日 (木)
ひろしまフードフェスティバル	広島城周辺	22.10.30 (土) ~31 日 (日)
プラチナ世代キャラバン	産業会館	22.10.31 (日)
2010 温暖化ストップ!	基町クレド	22.10.31 (日)
2010 年度広島県ふくしまちづくりのつどい	広島県社会福祉会館	22.11.15 (月)
福祉フェア 2010	シャレオ中央広場	22.11.20 (土)
NHK 歳末たすけあい “ハートいっぱいチャリティー広場”	NHK	22.12.3 (金) ~4 (土)
ヒューマンフェスタ 2007 ひろしま	N T Tクレドホール	22.12.5 (日)
セルフフェア 2010	ひろしま夢ぷらざ	22.12.2 (木) ~14 (火) 内 3 日間
J A I F A 2011 年新春セミナー	南区民文化センター	23.1.12 (水)
介護支援専門員研修	広島国際会議場	23.1.16 (日)
広響マーガレットコンサート	広島国際会議場	23.1.30 (日)

②常設店・フェア・イベント事業支援

I 常設展示

生協ひろしまコープハモンズ (福山市)、ひろしま夢ぷらざ (広島市中区)、
広島プリンスホテル (広島市南区)

※生協ひろしまコープハモンズ店での販売については、納品等の難しさから他の生協ひろしま店と同様に広島市就労支援センターが販売を受託することとなったため、センターの販売を終了した。

II 創作品、商品の展示紹介活動の推進

今年度より、参加事業所で実行委員会を組織し、フェアの企画、運営に携わっていただくことで継続したフェアの開催と製品の質の向上を目指すとともに、県民への幅広い PR に努めた。

フェア名	開催日	開催地	参加事業所数
セルフフェア 2010	12月2日 (木) ~ 14日 (火)	ひろしま夢ぷらざ (広島市中区)	28事業所 (うち会員24事業所)

③斡旋紹介活動の推進

I 製品販売・印刷等共同受注事業支援

II ルイボスティ・海水の素共同受注事業支援

III 自動販売機事業共同受注事業支援

IV 官公需等の斡旋 (総務課、薬務課、選挙管理委員会)

(2) 研修会の開催

①視察研修

内容：先進的な取り組みを実施している徳島県の事業所を視察。

訪問事業所：竜雲学園、Do やまびこ、カフェベリーズ（自立支援センターあぷろーち）

日程：9月9日（木）・10日（金） 参加者23名

②実践報告会

内容：重度の障害のある方への日中活動保障の取り組みについての講演会と県内の事業所の実践報告、今後の課題について参加者との意見交換会。

日時：1月21日（金） 参加者39名

講師：日浦 美智江 氏（社会福祉法人訪問の家 前理事長・社会福祉法人十愛療育会 理事長）

井上 一成 氏（第一もみじ作業所 所長）

正置 耕太郎 氏（NPO 法人あいあい広場 所長）

(4) 介護機材サービス事業

昨年度末の会議にて事業の終了が決定した為、決算報告し、終了した。

6 障害のある人に対する就業・生活支援に係る事業

呉安芸地域障害者就業・生活支援センター事業を実施した。

①就業支援登録

313名の就労希望者の登録

②就業における実績

88名の職場実習を実施し、67名の就労実績。

○ 社会生活スキル学習会

職場で必要なスキルを身につけ、就労を意識付ける目的として、登録者を対象に開催した。休日の余暇活動の場として安定した継続就労にもつながっている。

日付	場所	内容
H22年6月26日（土）	つばき会館	自己紹介 いろいろな場面でのあいさつ
H22年10月23日（土）	つばき会館	働く意欲①
H22年12月18日（土）	つばき会館	健康管理
H23年2月19日（土）	つばき会館	ステキな身だしなみ

○ 障害者雇用関係機関連絡会

情報提供・情報交換や障害者雇用企業の講演を通じて、障害者支援施設や雇用関係機関との連携・支援ネットワークの構築を図り、業務を円滑かつ有効に実施するために開催した。企業に

参加いただくことで、障害者雇用企業の支援・雇用の拡大や障害者支援制度の周知を図った。

日付	場所	内容
H22年9月3日 (金)	大和ミュージアム	障害者雇用企業による講演
H23年1月28日 (金)	大和ミュージアム	障害者雇用企業による雇用事例発表

7 障害のある方の権利擁護に関する事業

中央大学教育学部の学生が視察。「人権擁護センターほっと」に講師を依頼し、障害のある方々の就労先、施設での人権侵害の実態について講義いただいた。

8 関係行政機関、団体等との連携に関する事業

(1) 当事業に係る障害者施設の各団体との連携

広島市就労支援センターとの「セルフフェア2010」共同開催を行った。

(2) 障害者の就労に関する各団体及び理解と支援を示す各団体との連携

厚生労働省広島労働局、広島県障害者支援課、広島市障害自立支援課、広島県雇用人材確保課、広島障害者職業センター、広島障害者職業能力開発校、各障害者就業・生活支援センター、ハローワーク呉、ハローワーク広島、ハローワーク広島東、ハローワーク可部、ハローワーク廿日市、呉特別支援学校、広島北特別支援学校、広島特別支援学校、廿日市特別支援学校、黒瀬特別支援学校、広島市立広島特別支援学校、広島県共同募金会 広島県社会福祉協議会、ひろしまNPOセンター等

(3) 全国・各地の同主旨・同目的を持つ各団体との連携

全国社会就労センター協議会、日本セルフセンターより、東日本大震災における、物資支援や人材派遣支援依頼等について、会員施設に情報提供、協力を依頼した。

9 その他目的達成に必要な事業

(1) 総会、理事会の開催

①総会

第1回 5月31日(月) 広島県社会福祉会館

「議案」平成21年度事業報告・決算報告

「研修会」障害者の就労状況と雇用情勢(講師: 広島労働局 迫田 誠治氏)

第2回 3月19日(土) 広島県社会福祉会館

「議案」平成22年度補正予算、平成23年度事業計画・予算

「研修会」障害者福祉施策の今後の動向について(講師: 厚生労働省 専門官 高原 伸幸氏)

②理事会

第1回 5月24日(月) 広島県社会福祉会館 会議室3

「議案」平成21年度事業報告・決算報告、会員入退会等

第2回 8月31日(火) 広島県社会福祉会館 会議室1

「議案」広島県庁からの官公需への対応、法人移行について、セルフフェアについて

第3回 12月20日(月) 久里川

「議案」上半期活動報告、ふれ愛プラザ売上報告

第4回 3月12日(金) 広島県社会福祉会館 会議室4

「議案」平成22年度補正予算、平成23年度事業計画・予算

(2) 正会員及び賛助会員の拡大を推進し、組織の強化を図る。

①正会員(115事業所)

入会 事業所 作業所わくわく、ワークセンター光清学園

退会 事業所 あおぞら工房、あらくさ、あゆみ作業所、野呂山学園

②賛助会員

入会 沖田道治様(個人)、理想科学工業株式会社、岡本建設株式会社

退会 三光電業株式会社、東洋コルク、日本カーソリューションズ株式会社

※日本カーソリューションズ株式会社との自動車リースの事業は継続

(3) 財務基盤の確立

塩、レイボスティ、スティックシュガーの販売促進の取り組み

(4) 企業等からの寄附・補助情報提供

企業名	寄附・補助金、物品	事業所名
三菱電機株式会社	100,000円(掃除機 2台)	すみれ工房
	100,000円(テレビ 2台)	庄原もみじ園

(敬称は略させていただきました)